



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	27,892	7.8	2,170	△12.7	2,235	△12.7	1,472	△4.6
26年3月期第2四半期	25,882	△6.4	2,487	△31.0	2,559	△31.3	1,543	△28.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,507百万円(△2.8%) 26年3月期第2四半期 1,551百万円(△28.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	99.61	—
26年3月期第2四半期	104.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	52,545	32,932	62.7
26年3月期	53,929	32,260	59.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 32,932百万円 26年3月期 32,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	60.00	80.00
27年3月期	—	10.00			
27年3月期(予想)			—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	△3.4	3,000	△43.8	3,000	△45.2	2,000	△39.0	135.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	14,783,900株	26年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	628株	26年3月期	578株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	14,783,283株	26年3月期2Q	14,783,412株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高の傾向が継続し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたが、消費税増税による駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れリスクなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、消費税増税による稼動への大きな影響はありませんでしたが、依然として4円パチンコの稼動は微減傾向にあり、顧客であるパチンコホールの経営環境は厳しい状況が続いております。また、平成26年9月16日より適用が開始された「パチスロ機の出玉に関わる型式試験プロセスの一部変更」による今後の市場への影響の大きさは不透明な状況であります。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ファンの遊技性向上を目指した高性能な情報公開機器「BIGMO PREMIUM」と新製品である「BIGMO TypeIV」や「IL-X2」、「DESTIA」の拡販及びCRユニット「VEGASIA」の販売を推進しました。制御システム事業におきましては、業績の向上を目指し、新規取引先の開拓や新規開発物件の受注活動に取組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高278億92百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益21億70百万円（同12.7%減）、経常利益22億35百万円（同12.7%減）、四半期純利益14億72百万円（同4.6%減）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、効率的なホール運営を実現できるトータルコンピューティングシステムのメリットを生かし、CRユニット「VEGASIA」と情報公開機器「BIGMO PREMIUM」を中心に、新規オープンや改装を伴う大型店舗への導入が図られ、販売が好調に推移しました。一方で先行投資による研究開発費が増加しました。

この結果、当事業の売上高は182億17百万円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は26億18百万円（同11.3%減）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、表示ユニットの販売台数は昨年を上回りましたが、遊技機メーカーのコスト低減の動きに伴い、リユース品の比率が高まりました。

この結果、当事業の売上高は96億75百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は3億69百万円（同27.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、当第3四半期以降に販売予定としている在庫の増加や、前第4四半期連結会計期間に比べ当第2四半期会計期間の売上高が大きかったことによる売上債権の増加がありましたが、未払金の決済や納税及び配当金等の支払による現預金の減少、また減価償却費の計上による固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ13億84百万円減少の525億45百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度の3月度に比べ当第2四半期の9月度において仕入計上が少なかったことによる買掛金の減少や、研究開発費に関する未払金の減少及び長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べ20億55百万円減少の196億13百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、営業成績が好調に推移したことによる利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ6億71百万円増加の329億32百万円となり、自己資本比率は62.7%（前連結会計年度末比2.9ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、平成26年5月12日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成26年6月27日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に基づき決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が78,419千円減少し、利益剰余金が50,737千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,381,553	13,575,769
受取手形及び売掛金	11,427,291	12,267,507
商品及び製品	7,204,529	7,142,757
仕掛品	41,207	35,370
原材料及び貯蔵品	1,538,748	2,534,563
繰延税金資産	7,117	4,884
その他	1,514,070	1,058,311
貸倒引当金	△69,309	△55,782
流動資産合計	37,045,208	36,563,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,067,439	3,935,330
土地	4,141,598	4,141,598
その他(純額)	1,268,400	1,201,471
有形固定資産合計	9,477,438	9,278,399
無形固定資産		
ソフトウェア	1,738,055	1,574,590
その他	34,283	34,079
無形固定資産合計	1,772,338	1,608,670
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,444,049	2,183,236
投資不動産(純額)	971,097	965,279
長期預金	500,000	—
その他	1,924,918	2,126,601
貸倒引当金	△205,321	△179,842
投資その他の資産合計	5,634,744	5,095,274
固定資産合計	16,884,520	15,982,344
資産合計	53,929,729	52,545,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,881,786	14,153,599
1年内返済予定の長期借入金	399,866	399,866
未払法人税等	626,822	439,585
繰延税金負債	230,734	360,175
役員賞与引当金	158,504	42,040
その他	3,861,754	3,035,424
流動負債合計	20,159,470	18,430,692
固定負債		
長期借入金	400,266	200,333
役員退職慰労引当金	400,326	385,329
退職給付に係る負債	461,363	343,104
その他	247,628	254,250
固定負債合計	1,509,585	1,183,018
負債合計	21,669,055	19,613,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	31,027,990	31,664,300
自己株式	△1,155	△1,237
株主資本合計	32,380,843	33,017,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,668	30,924
退職給付に係る調整累計額	△138,837	△115,979
その他の包括利益累計額合計	△120,169	△85,055
純資産合計	32,260,673	32,932,015
負債純資産合計	53,929,729	52,545,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	25,882,630	27,892,912
売上原価	17,703,598	19,353,465
売上総利益	8,179,031	8,539,447
延払販売未実現利益戻入	12,617	11,691
差引売上総利益	8,191,648	8,551,139
販売費及び一般管理費	5,704,071	6,380,645
営業利益	2,487,576	2,170,493
営業外収益		
受取利息	3,393	4,721
受取配当金	5,984	6,079
不動産賃貸料	36,275	35,063
貸倒引当金戻入額	13,032	21,081
その他	47,305	35,327
営業外収益合計	105,992	102,273
営業外費用		
支払利息	3,422	3,405
不動産賃貸費用	21,983	25,656
その他	8,487	8,512
営業外費用合計	33,894	37,575
経常利益	2,559,674	2,235,192
特別損失		
固定資産除却損	25,410	2,129
投資有価証券評価損	19,999	—
特別損失合計	45,410	2,129
税金等調整前四半期純利益	2,514,264	2,233,062
法人税、住民税及び事業税	286,075	414,843
法人税等調整額	685,148	345,646
法人税等合計	971,223	760,490
少数株主損益調整前四半期純利益	1,543,041	1,472,572
四半期純利益	1,543,041	1,472,572

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,543,041	1,472,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,452	12,256
退職給付に係る調整額	—	22,858
その他の包括利益合計	8,452	35,114
四半期包括利益	1,551,493	1,507,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,551,493	1,507,686

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,562,503	10,320,126	25,882,630	—	25,882,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,562,503	10,320,126	25,882,630	—	25,882,630
セグメント利益	2,950,413	508,012	3,458,425	△970,848	2,487,576

(注) 1 セグメント利益の調整額△970,848千円には、セグメント間取引消去1,387千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△972,235千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,217,290	9,675,622	27,892,912	—	27,892,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,217,290	9,675,622	27,892,912	—	27,892,912
セグメント利益	2,618,015	369,691	2,987,707	△817,213	2,170,493

(注) 1 セグメント利益の調整額△817,213千円には、セグメント間取引消去206千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△817,419千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。